

『歯周病患者に対する包括的治療における Soft & Hard Tissue Management』

演題



北島
一
先生
北島
歯科
医院
院長

略歴

1987年 広島大学歯学部卒業
1990年～ 北島歯科医院 開業
2008年 5-D Japan ファウンダー
日本臨床歯周病学会認定医
OJ (Osseointegration study club of Japan) 常任理事
AAP (American Academy of Periodontology) 会員
EAED (European Academy of Esthetic Dentistry) 会員

歯周病が進行した口腔内には、歯の支持骨の喪失や歯の欠損も見られ、さらには歯列不正、咬合の異常がおこり、機能的、審美的な問題を抱えることが少なくない。
このような状況に対し、機能回復については歯周組織再生療法による支持組織の獲得や矯正治療、歯槽堤増大も含めた欠損部へのインプラント修復などの包括的な治療が有効に働く。そこで歯周外科においては長期経過も含めて症例を呈示しながら様々な外科術式を紹介し、とくに再生療法については動画を用いて術式を解説したい。また患者が20～30歳代の年齢で進行が著しい歯周病に対しては、長い生涯を見据えて機能を維持していくためライフステージにも配慮した治療計画が必要となるだろう。
審美的な獲得については、歯周病によって歯を喪失するようなケースでは、欠損部歯槽堤の骨量の不足と同時に、そこに隣接する周囲天然歯においても骨吸収が進行し、歯肉退縮に伴う歯根面露出や歯間乳頭の喪失による鼓形空隙の拡大など審美性を損なう問題を抱えていて、健全な歯周組織を有する歯列のような審美性を獲得することは困難な場合が多い。
このとき審美的な獲得のゴール設定をどのようにするのか患者の希望に配慮しながら決定する必要がある。患者の希望とは審美的な獲得の他に、歯の保存や歯質の保存も希望されることが多く、これら三つの目標全てを達成するゴール設定は無理なことが多い。このとき術者はそれぞれの要素のなかでバランスを取り、個々の患者にとって最善と思われる治療のゴール設定を行うことが求められる。
そして決定されたゴールに到達するためには、様々な状況に応じた戦略を立案し、適切な軟組織および硬組織に対するTissue Managementを応用する必要がある。
今回の講演では上記のように歯周病患者における機能と審美を獲得するための様々な術式と応用上での留意点についてお話したい。

2019
2/24日

時間 10:00～16:30

会場 日本薬学会 長井記念館

渋谷区渋谷2-12-15 Tel03-3406-3326

主催 奥羽大学歯学部同窓会

37期卒～41期卒の
同窓生・臨床研修医・学生 **無料!**

会費 同窓会会員事前申込 ……8,000円
一般歯科医師事前申込 ……10,000円
事前申込期限: 1月31日(木)

2/1以降 同窓会員 ……10,000円
一般歯科医師 ……12,000円
技工士・衛生士・助手 ……5,000円

託児所の補助金制度がございますので、お気軽にご利用し卒後研修セミナーに奮ってご参加ください。託児所を利用される場合には事前に事務局へお問い合わせください。

申込方法

申込書にご記入の上FAXでお申込後下記口座までお振込み下さい。ご入金確認後、登録完了とさせていただきます。振込明細票を持って領収証とさせていただきます。講演会終了後、懇親会を予定しております。懇親会ご希望の方は合わせてお申込み下さい。(懇親会費 6,000円)

振込先: みずほ銀行郡山支店 普通口座 8030627 有限会社オーウデント 卒後研修会事務局

〒963-8611 郡山市富田町字三角堂31-1 奥羽大学歯学部同窓会事務局 TEL 024-939-0530 FAX 024-935-7420

予告 2019年5月26日(日) 講師: 松丸 悠一 先生 場所: 奥羽大学

キリトリ

第25回 奥羽大学歯学部同窓会卒後研修セミナー FAX024-935-7420

(フリガナ) 氏名	<input type="checkbox"/> 同窓会会員 (期卒) <input type="checkbox"/> 技工士・衛生士・助手	
ご住所	<input type="checkbox"/> 一般歯科医師 <input type="checkbox"/> 臨床研修医・学生	
TEL	FAX	<input type="checkbox"/> 懇親会に参加 医院名()

※参加される先生は、日歯生涯研修カードをお持ち下さい。